

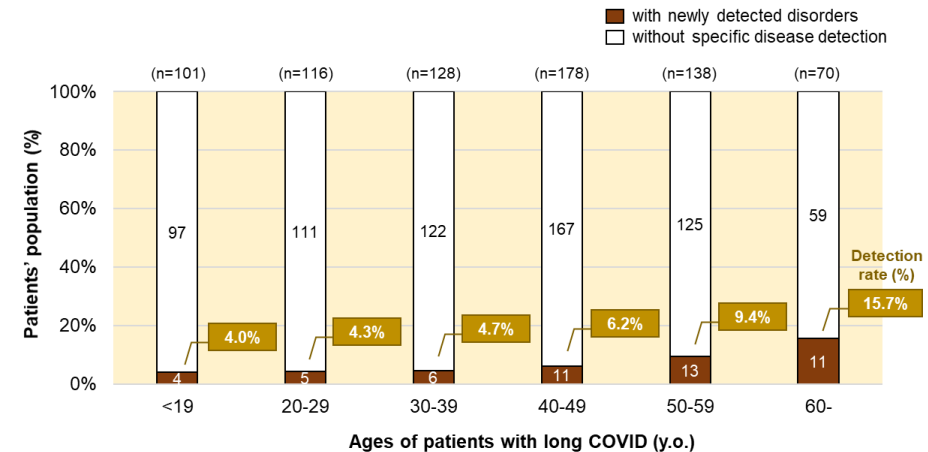
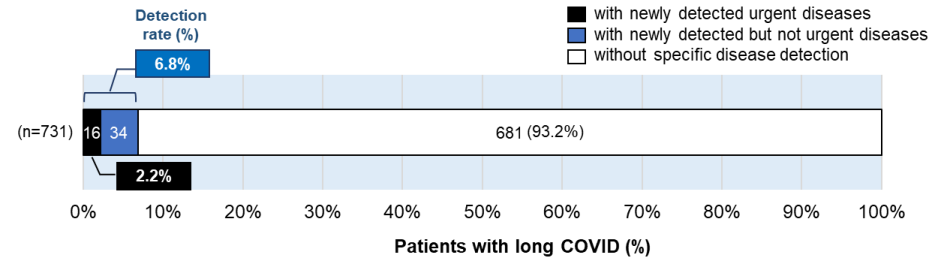
## コロナ罹患後症状のなかに潜在していた疾病とその割合

2021年2月から2023年6月に当科コロナ・アフターケア外来を受診された方、731人を対象にデータを分析しました。

✓ Long COVIDを疑われて受診した731人のうち、50人(6.8%)に何らかの介入/フォローを必要とする疾患(52疾患)が同定されました。うち16人(32%/全体の2.2%)は、long COVIDによる症状よりも治療が優先されると考えられました。

✓このような疾患が見つかる割合は、年齢とともに増加し、60歳以上の方では15.7%に及びました。

✓内分泌代謝疾患・血液疾患・呼吸器疾患が各々8人(16%)と最も多く、52疾患中35疾患(67%)が受診契機となった症状と関連していた一方、内分泌代謝疾患は症状との関連が最も乏しいことが分かりました。



コロナ罹患後症状の受診者には、Long COVID以外の他の疾患が潜在する割合が高齢者で多く、後遺症症状との関連が小さくとも、内分泌代謝疾患が発見されやすいことが分かりました。

Yasuhiro Nakano, Naruhiko Sunada, Kazuki Tokumasu, Hiroyuki Honda, Yuki Otsuka, Yasue Sakurada, Yui Matsuda, Toru Hasegawa, Daisuke Omura, Kanako Ochi, Miho Yasuda, Hideharu Hagiya, Keigo Ueda and Fumio Otsuka.  
*Occult endocrine disorders newly diagnosed in patients with post-COVID-19 symptoms. Sci Rep. (in press).*

